

令和5年度

基礎学力テスト（英語・国語）

（60分）

解答はすべて解答用紙に記入すること

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かないこと。
2. 問題用紙は、表紙を含めて7ページである。
3. 解答用紙は、2枚である。2枚とも解答すること。
4. 受験番号・氏名は、監督者の指示に従って記入すること。
5. 問題用紙の余白等は適宜使用してよい。

基礎学力テスト（英語）

I. 次の(1)~(10)の英文において、空所に入れるのに最も適切なものを、それぞれ1～4の中から一つずつ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (1) Many young people like () adventure stories.
1. delicate 2. exciting 3. narrow 4. quiet
- (2) () an umbrella because it's going to rain.
1. Bring 2. Draw 3. Hide 4. Pull
- (3) I made myself at () thanks to my friend's warm welcome.
1. entrance 2. garden 3. home 4. seat
- (4) A doctor was standing by for an () during the sporting event.
1. abroad 2. emergency 3. invention 4. origin
- (5) Everyone () him ordered the same main dish at the restaurant.
1. among 2. down 3. except 4. within
- (6) () it rains or not, the event will be held tomorrow.
1. As 2. Before 3. Since 4. Whether
- (7) A glass of orange juice always () me when I'm sleepy.
1. allows 2. pours 3. refreshes 4. spills
- (8) I'm going to be () of my parents after graduating from school.
1. full 2. independent 3. kind 4. typical
- (9) The friendly neighbor has () moved into our apartment building.
1. always 2. frequently 3. recently 4. sometimes
- (10) If you are the last person to leave the room, please () the air conditioner.
1. check in 2. drop by 3. pick up 4. turn off

II. 次の(1)~(10)の英文において、空所に入れるのに最も適切なものを、それぞれ1~4の中から一つずつ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

(1) I () to the basketball club when I was a high school student.

1. belong 2. belonged 3. belonging 4. was belonging

(2) When () you come to Fukuoka?

1. are 2. did 3. does 4. were

(3) How () is your hometown?

1. far 2. many 3. much 4. often

(4) My friends feel like () to the movies on weekends.

1. are going 2. go 3. going 4. will go

(5) Please hand in your report () the end of this month.

1. by 2. in 3. on 4. until

(6) Anyone () is interested in the project can join.

1. which 2. who 3. whom 4. whose

(7) I'll tell you when Ms. Nakamura () while I'm here.

1. came 2. comes 3. had come 4. will come

(8) I found those questions difficult () .

1. have solved 2. solved 3. to solve 4. to solving

(9) () John has been working so hard, his salary has been increased.

1. Although 2. Because 3. During 4. Unless

(10) If he had known her contact information, he () her directly.

1. had called 2. has called 3. would call 4. would have called

基礎学力テスト (国語)

一 次の問題の答えを解答欄に記入しなさい。

問一 次に挙げる例文の傍線部を漢字で答えなさい。

- ア 商品をちんれつする。
- イ 道路のほしゅう工事が始まる。
- ウ 無病そくさいが何よりだ。

問二 次に挙げる例文の傍線部を漢字と送り仮名で答えなさい。

- ア 包丁をとぐ。
- イ いるような目で見つめる。
- ウ 台風の勢力がおとろえてきた。

問三 次に挙げる語句の読み方をひらがなで答えなさい。

- ア 浮沈
- イ 丘陵
- ウ 排斥

問四 次に挙げる語句との関係が「類義語」になる言葉を、空欄に漢字一字入れて作りなさい。

- ア 便利……重()
- イ 早速……()刻

問五 次に挙げる語句との関係が「対義語」になる言葉を、空欄に漢字一字入れて作りなさい。

- ア 辛勝……惜()
- イ 課税……()税

問六 次に挙げる四字熟語の傍線部を漢字で答えなさい。

- ア シンザン幽谷の秘湯。
- イ 危機イッパツのところで助かった。

問七 次の八代集を編纂された順に並べたとき、一番目と七番目にくるものを番号で答えなさい。

- ① 拾遺和歌集 ② 金葉和歌集 ③ 新古今和歌集 ④ 千載和歌集
- ⑤ 古今和歌集 ⑥ 後拾遺和歌集 ⑦ 後撰和歌集 ⑧ 詞花和歌集

二 次の文章を読んで、後の問いの答えを解答欄に記入しなさい。

生活文化というものについて考えていると、イヤオウなく見えてくるのが、「伝える」^①ということそのものの重さです。現代の社会は途方^Aもなく複雑化し、社会を維持するためにだれがどこで何をしているのか、ひじょうにわかりにくくなってしまいました。ちゃんと仕事についても、自分のしていることがほんとうに必要とされていることだとは必ずしも思えないのが実情です。しかし、本来の人間社会は、生きていくために必要な仕事をみんなでプンタン^②し、そのための技術や知恵を次の世代に伝えることで、なんとか成り立っていたはずで、その事情はいつも基本的には変わっていません。ただ、社会の規模が巨大化したせいで、必要^Bな仕事をしている人が見えなくなるとともに、不要^Cな仕事をしたり、何もしないでいたりする余裕が、大幅に増えたというだけなのです。

「伝える」ということの重さがわかりにくくなったのは、「進歩」のせいでもありません。社会を維持していくために何が重要かということ自体は、昔もいまも本質的には変わっていないはずですが、それに使われる技術や知恵は、近代科学の時代になって、どんどん進歩し、変化するようになってきました。それは結構なことではありますが、「進歩」にばかり目を奪われると、結局はそれも「伝える」内容のマイナーチェンジにすぎず、「伝える」こと自体の重みは少しも減っていないのだということを見失ってしまいかねません。

^D そのことが大きな矛盾となって噴き出しているのが、教育の場ではないでしょうか。教育は本来、子ども一人一人の人生のためになると同時に、私たちが次の世代に伝えなくてはならないことを受け渡す場でもあつたはずです。しかし、輝かしい「進歩」^Eに目がくらんだ私たちは、教育が「伝える場」「手渡す場」でもあることを忘れ、子どもたち自身がより幸せな人生をカクトク^③することばかりを願うようになってしまいました。「なんのために勉強しなくてはいけないのか」という子どもたちの問いに、いまの多くの大人は、「だれのためでもない、おまえ自身のためだ」と答えます。「お国のため」や「一家一族のため」でなくなったのは、おおいに結構なのですが、子どもたちにしてみれば、「自分のためなんだ」たら、いやなことはやめておこう」と考えたくもなるというものです。

でも、だれもがそれぞれに何かを「受け継ぐ」こと、そして、いつかはそれを「手渡す」ことが、私たちの社会にとってどれほど大切であるかが実感できれば、いま、学ぶことを無意味に感じている子どもたちも、少しは意欲を取りもどしてくれるのではないのでしょうか。いまの子どもたちは自分のことしか考えていないんだから、そんなことくらいでは動かない、という意見もありそうですが、人間が無力感におちいり、すべてに無^④トンチャクになるのは、自分が何をやってどうせ無意味だと思わされてしまうからです。自分勝手だと言われがちな現代の若者たちが、ボランティア活動になると思いのほか力をハッキ^⑤するのが、その何よりの証拠です。

しかし、複雑すぎる社会に生きるいまの子どもたちに、どうすれば「伝える」ことの大切さを実感させることができるでしょうか。言葉でただ説明しても、お説教にしかありません。いまあちこちで、伝統技術などを持っておられる方々を学校に招いて、子どもたちにそれを教えていただくといった試みがなされており、とてもいいことだとは思いますが、ともすると珍しい体験をしたというだけに終わってしまいかねません。子どもたちに学び、実感してほしいのは、たとえば竹トンボを作ったりする技術自体ではなく、そういう技術を受け取り、伝えることが、どれほど意味のあることであり、私たちが生きていくために必要^Bな欠な^Bことなのか、ということです。いったいどうすればそれがわかってもらえるのでしょうか。

じつはここに、本を読むことのひとつの意味があるのです。考えてみれば、私自身が育った環境だって、もはや「伝える」ことが大切にされている社会ではありませんでした。市街地でしたから、野山で自然に接する

機会は少なく、季節の行事もすでにほとんどすたれていました。にもかかわらず、暮らしを支える文化というものの全体像がなんとなくわかり、それを伝えることの大切さが身にしみているのは、いろんな国の人々の暮らしをハイケイにした優れた児童文学、たとえばワイルダーの『大草原の小さな町』や、ド・ヨングの『あらしの前』のような作品を、たっぷりと読んできたからだと思います。読むことはたしかに間接体験にすぎませんが、そのかわり、実体験ではつかみにくい全体像を見渡すことができますし、さまざまな世代、さまざまな立場の登場人物の内側に入って、物事がどう見えているかを知ることできます。それらを通じて私は、自分が生きている社会もまた、基本的にはおなじようにして支えられているのだということ、自然に理解できるようになったのではないかと思うのです。

それに第一、本というのは、「伝えたい」という人間の思いを、痛いほどありありと感じさせてくれるものでもあります。もちろん、すべての本がそうだというのではなく、単なるゴラク^⑦として書かれた本、商品として作られた本には、それが感じられないことも多く、そこが本物の本との大きな違いのひとつかもしれせん。「伝えたい」ことといっても、消えゆく伝統、忘れてほしくない歴史的事件、自分の主義主張や信念などといった、大きなものだけではありません。自分が味わったさまざまな喜び、風景などの美しさ、出会った人々の人間的な魅力、言葉の響きのおもしろさ、食べもののおいしさ、新しい発見の驚き……、たとえ小さなことでも、テキカクな表現によって「ああ、わかるなあ、これ」と感じさせられるとき、私は、ただそれを受け取ってすまずのではなく、なんらかの形でだれかにそれを手渡さないと、もったいないような気がしてきます。考えてみれば、文化の伝承^Fというのは、なにも義務感からされてカタヒジ張^⑨ってやることではなく、いいものをもらった喜びをおすそわけしたくなるような、そんな小さな思いのシュウセキ^⑩にはかならないのかもしれない。

『読む力は生きる力』 協明子 二〇〇五年 岩波書店

問一 傍線①～⑩のカタカナを漢字に改めて答えなさい。

問二 傍線Aの語句の意味を二十字以内で答えなさい。

問三 空欄B・Cに適切な語句を漢字で答えなさい。

問四 傍線Dの指示する内容を、本文の語句を使用して三十字以内で答えなさい。

問五 傍線Eの語句の意味を三十字以内で答えなさい。

問六 傍線F「文化の伝承」を具体的に表現している部分を本文の中から抜き出して、四十字以内で答えなさい。

い。